

脚本で本の魅力を伝えよう！
～描かれていない心情を明かせ！～
「視点を変えて心情を描こう」（東京書籍）

本単元で育成する「21世紀型スキル」

◎創造力

1 単元設定の理由

【単元について】

本単元は中学校学習指導要領国語第1学年の目標及び内容C(1)ウを受けて設定したものである。文学作品を深く読み解釈するためには、文章から直接的に読み取れる内容を把握するだけでなく、場面や描写に新たな意味づけを加えながら読むことが重要である。

「少年の日の思い出」は一人称で描かれた物語であり、主人公以外の登場人物の心情や行動の意図について、想像して解釈するのに適した教材といえる。また、小説を脚本に書き替える活動は、描かれていない登場人物の心情や行動、その意図を、場面や描写を根拠に思考したり、表現したりする力を育成することができ、本校が目指す「21世紀型スキル」の創造力を育成するのに適した単元といえる。

【生徒の実態】7年1組15名(男子9名、女子6名)

①本単元にかかわる生徒の実態

「本やインターネットから得た情報や様々な表現技法を参考にしながら、自分なりのアレンジを加えつつ、自分の興味に沿った作品や学校、地域社会に役立つものを創作することができている」と回答した生徒は76%であり、創作する活動に対して肯定的に捉える生徒が比較的多いことが明らかになった。しかし、これまでの学習から、登場人物の心情や行動の意図等、直接描かれていないことを想像して読む力が十分に身に付いていない。

②学校図書館活用にかかわる生徒の実態

「図書館の本を週に1回以上は利用しています。」と回答した生徒は19%であり、学校図書館への関心や活用しようとする意欲が低いことが分かった。

【指導に当たって】

- ・全校のみんなに、もっと学校図書館の本への関心をもってもらうため、図書館にある小説を基に脚本や劇を創作し紹介するという活動を単元のゴールに設定することで、明確に目的意識をもたせ活動への意欲を高めさせる。また、学校図書館の一人称で描かれた本に限定して、結末以外で生徒自身が好きだと感じる場面を班で選ばせ、脚本に書き換える活動を仕組むことによって、学校図書館の本への関心が高められるようにする。
- ・実際の脚本やそれを基に作られたドラマを用意し、脚本や劇を創作する際の手がかりとして活用できるようにする。
- ・一人称で描かれた物語と三人称で描かれた物語の特徴について考えさせることで、それぞれの描かれ方の特徴を捉えさせ、一人称で描かれた物語を脚本に書き換える意義に気付かせる。

【単元の目標】

- 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

【知識及び技能】(1)ウ

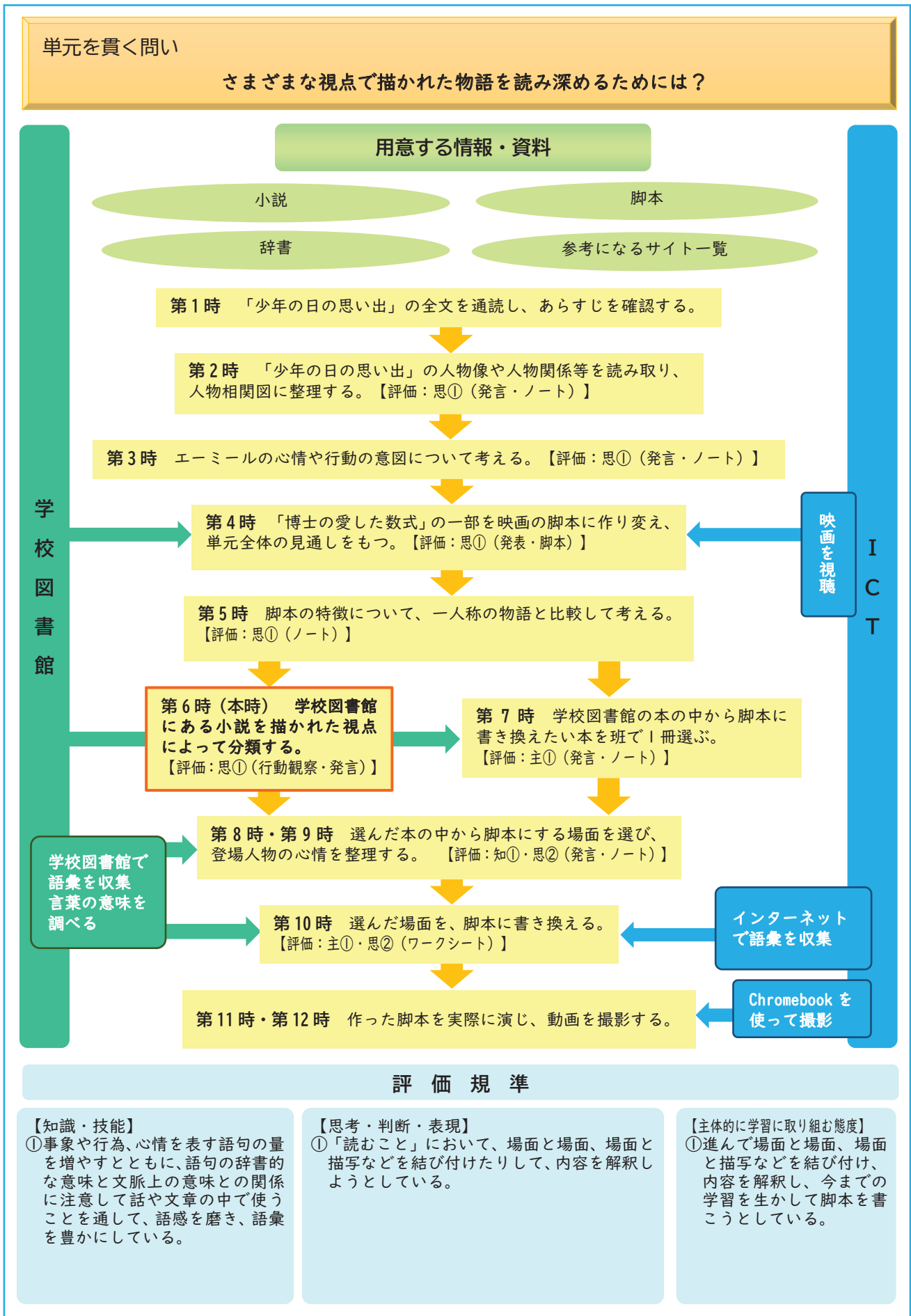
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)ウ

- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

2 単元構想図（指導と評価の計画）



3 本時の学習（本時6／11時）

(1) 本時の目標

○表現の仕方や物語の描かれ方を根拠にしなが、一人称と三人称で描かれた物語の読者の感じ方や脚本の特徴について考えることができる。

(2) 準備物

- 図書資料
- スライド

(3) 学習の展開

| 学 習 活 動 | 指導上の留意事項（○）及び「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て（◆） | 評価規準（評価方法）及び学校図書館・ICT活用のポイント |
|---|---|---|
| 1 本時の中心課題を確認する。 | | |
| 物語を脚本にするには、どのようなステップが必要だろうか？ | | |
| <p>2 一人称で描かれた物語と三人称で描かれた物語の捉え方や感じ方の特徴について交流する。</p> <p>【一人称で描かれた物語の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の心情が直接描かれる。 ・主人公以外の登場人物の心情や状況を自由に想像できる。 ・主人公以外の行動や心情が捉えにくい。 ・主人公以外の心情は想像するしかない。 <p>【三人称で描かれた物語の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公が見えていない場面や心情も読み取ることができる。 ・物語の解釈が統一されやすい。 ・読者が感情移入しづらい。 ・一人称に比べ、主人公以外の登場人物の感情の想像の幅が狭まる。 | <p>○前時までに、一人称で描かれた物語と三人称で描かれた物語の捉え方や感じ方の特徴について個人で考えさせておく。ここでは自由に考えたことを報告させる。</p> <p>◆物語の捉え方や感じ方について考えることが困難な生徒には、個別に思考を促す発問をしたり、ペアで意見を交流する時間を設けたりして、自分の意見を持てるようにする。</p> <p>○それぞれの特徴については、視覚的に分かりやすくなるよう、表を用いて整理する。</p> <p>○ここでは、一人称と三人称の描かれ方から、登場人物の心情や行動の捉えやすさの違いについて考えさせたい。必要に応じて、そのような生徒の思考を促すような問いを投げかける。</p> | <div data-bbox="1134 846 1455 1039" style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;"> <p>ICT活用のポイント 必要に応じて、前時の学習をまとめたスライドを提示しながら、復習させる。</p> </div> |
| <p>3 自分が今まで読んだ本、図書館にある本を分類する。</p> <p>【一人称】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語が「僕」「私」「彼」 ・一人の目線で物語が進む。 <p>【三人称】</p> | <p>○はじめに、全体で一人称と三人称の見分け方を確認し、迷いなく分類できるようにする。</p> <p>○箱を三つ用意し、分類した本をどんだん入れられるようにする。</p> <p>①一人称で描かれた本</p> | <div data-bbox="1142 1637 1474 1839" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"> <p>学校図書館活用のポイント 図書館の本を使用して、描かれた視点の見分け方を学習する。</p> </div> |

| | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・主語が登場人物の名前。 ・一人称よりも客観的な視点で物語が進む場合が多い。 <p>4 正確に仕分けられているか、全体で確認を行う。</p> <p>5 実際に、それぞれの本を脚本にするには、どのようなステップが必要か話し合う。</p> <p>【一人称で描かれた物語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公以外の登場人物の心情や行動の意図を想像して書き換える。 ＝三人称に書き換える。 ・主人公以外の登場人物の行動を想像して書き加える。 ・必要に応じて、場面を省略したり、書き加えたりする。 <p>【三人称で描かれた物語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描かれていない登場人物の心情や行動の意図があれば、想像して付け加える。 <p>6 学習を振り返るとともに、次時の見通しをもつ。</p> | <p>②三人称で描かれた本</p> <p>③迷っている本</p> <p>○「迷っている本」を中心に、なぜ、そう考えるのか根拠を発表させながら全体で分類を行う。</p> <p>○本時のはじめに交流した、一人称で描かれた物語と三人称で描かれた物語の特徴を手掛かりに考えさせる。</p> <p>◆発言について理解できていない生徒がいれば、発言の内容をペアや全体で再度確認し、考えを整理する時間をつくる。</p> <p>○次回は、本時で学習したことを踏まえながら、実際に脚本に書き換える本を班で一冊選ぶことを伝える。</p> | <p>学校図書館活用のポイント 図書館で活動することで、多くの図書館の本に触れる機会を作る。</p> <p>場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈しようとしているかを確認する。 (行動観察・発言)</p> |
|--|--|--|

(4) 板書計画

| | | |
|---|---|---|
| <p>【三人称】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公が見えていない場面や心情も読み取ることができる。 ・主人公以外の登場人物の心情にも共感しやすい。 ・読者が感情移入しづらい。 ・一人称に比べ、主人公以外の登場人物の感情の想像の幅が広がる。 | <p>【一人称】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の心情が直接的に描かれる。 ・主人公の心情に共感しやすい。 ・主人公以外の登場人物の心情や状況を自由に想像できる。 ・主人公以外の行動や心情が捉えにくい。 ・主人公以外の心情は想像するしかない。 | <p>課</p> <p>十月十三日(金)</p> <p>物語を脚本にするには、どのようなステップが必要だろうか？</p> |
|---|---|---|

描かれていない登場人物の心情や行動の意図があれば付け加える。

・主人公以外の登場人物の心情や行動の意図を書き替える。
・主人公以外の登場人物の行動を書き加える。
・必要に応じて、省略したり書き加えたりする。